



平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日
上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 丸栄
コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長

(氏名) 京極 修二

(氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

定時株主総会開催予定日 平成26年5月22日

有価証券報告書提出予定日 平成26年5月22日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期の連結業績(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期	24,690	△5.4	534	102.3	375	294.9	209	—
25年2月期	26,106	△3.4	264	△45.3	95	△47.8	△421	—

(注) 包括利益 26年2月期 211百万円 (—%) 25年2月期 △421百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年2月期	1.61	—	1.0	0.8	2.2
25年2月期	△3.24	—	△2.1	0.2	1.0

(参考) 持分法投資損益 26年2月期 56百万円 25年2月期 54百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期	45,814	20,394	44.5	157.05
25年2月期	46,901	20,188	43.0	155.44

(参考) 自己資本 26年2月期 20,394百万円 25年2月期 20,188百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年2月期	926	△55	△915	1,219
25年2月期	837	△208	△712	1,264

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	△1.8	140	△24.7	50	△64.5	10	—	0.08
通期	24,300	△1.6	310	△42.0	140	△62.8	50	△76.1	0.39

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

	26年2月期	130,368,887 株	25年2月期	130,368,887 株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期	512,951 株	25年2月期	486,597 株
② 期末自己株式数	26年2月期	129,868,983 株	25年2月期	129,885,197 株
③ 期中平均株式数				

(参考) 個別業績の概要

平成26年2月期の個別業績(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期	23,017	△5.2	162	—	401	284.0	240	—
25年2月期	24,275	△3.1	△75	—	104	△53.2	△401	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期	1.85	—
25年2月期	△3.09	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期	43,312	19,530	45.1	150.40
25年2月期	44,152	19,294	43.7	148.55

(参考) 自己資本 26年2月期 19,530百万円 25年2月期 19,294百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	4
3. 経営方針	4
4. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
5. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	16
(3) 株主資本等変動計算書	18
6. その他	20

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新興国の景気減速やエネルギー価格の上昇など、懸念すべき材料もありましたが、政府の経済対策効果や円安を背景に、企業の業績や景況感の改善が進み、緩やかな回復傾向を示しました。

こうした環境下、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、雇用・所得環境の改善に加え、株価上昇に伴う資産効果や消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあり、宝飾をはじめとする高額商品の売上が好調に推移したほか、主力商材であります衣料品関連にも堅調な動きが見られました。

このような状況の中、当社はヤングファッションフロアを中心に継続的な売場の再構築を実施するとともに、昨年8月には会社設立70周年を迎え、その機を捉えた積極的なイベント展開を図り、集客力の強化に取り組むなど、お客様のニーズへの迅速な対応と店舗営業力の向上を推し進めてまいりました。併せて、より一層の経費節減や費用対効果の向上にも努め、経営効率の高い店舗運営体制の確立に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は246億9千万円(前年同期比94.6%)となりましたが、利益面につきましては、経費の削減に努めた結果、営業利益5億3千4百万円(前年同期比202.3%)、経常利益3億7千5百万円(前年同期比394.9%)となりました。特別損失として固定資産除却損1億5千7百万円を計上いたしました結果、当期純利益は、2億9百万円(前年同期は当期純損失4億2千1百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔百貨店業〕

百貨店業におきましては、当社の強みでありますヤングファッションフロアを中心に、人気ショップの拡大や新規ブランドの導入を図るなど、魅力ある店づくりを推進してまいりました。また現況の高額品需要を取り込むべく、宝飾品売場において金製品を集結した「ゴールドサロン」を新設し、幅広いお客様にご満足いただける売場づくりにも取り組みました。更に、会社設立70周年を記念した新企画の催事や物産展を積極的に開催する一方、2年目を迎えました屋上ビアガーデンも好調に推移するなど、集客力の強化と全館への波及効果による売上高の向上に努めてまいりました。

しかしながら、再構築中のヤングファッションフロアが伸び悩み、百貨店業の売上高は220億3千4百万円(前年同期比94.7%)となりましたが、利益面につきましては、徹底した経費管理と節減に努めた結果、営業利益2億9百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

〔不動産賃貸業〕

不動産賃貸業におきましては、空室率の低減に取り組みしましたものの、売上高は16億9千4百万円(前年同期比95.2%)と前年を下回りましたが、より一層の諸経費削減に取り組んだ結果、営業利益は7億1百万円(前年同期比104.7%)となりました。

〔その他〕

その他におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高9億6千2百万円(前年同期比90.1%)、営業損失2千8百万円(前年同期は営業損失1千8百万円)となりました。

次期の見通し

今後の経済環境につきましては、政府の更なる経済対策の実施や海外景気の持ち直しなどを背景に、景気回復の力が強まることが期待されますが、消費税率引き上げによる消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況にあります。

百貨店業界におきましても、店舗間や業態間の競争激化に加え、消費者ニーズの多様化やそれに伴うインターネットビジネスの急速な拡大など、業界を取り巻く環境の変化は一層スピードを増していくものと思われれます。

こうした中であって、当社は企業理念の原点に立ち返り、地域に愛される「丸栄ブランド」の確立

を図るべく、今一度、お客様のご要望に沿った品揃えの充実とご支持いただける店づくりに取り組んでまいります。また、固定客の増加を図るべく、カード会員の拡大と活性化に努め、売上の増大を目指してまいります。併せて、引き続き費用対効果の向上と経営効率の高い店舗運営に力を注ぎ、百貨店事業の再構築を進めてまいります。

更に、当社グループ全体のコスト構造の見直しを図り、安定的に利益を確保できる体制の確立に努める一方、コンプライアンス重視の社内環境の整備を推し進め、皆様から信用、信頼いただける企業づくりに取り組んでまいります。

平成27年2月期における業績見通しにつきましては、売上高は243億円、営業利益は3億1千万円、経常利益は1億4千万円、当期純利益5千万円を見込んでおります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 財政状態に関する分析

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億8千7百万円減少し、458億1千4百万円となりました。これは流動資産が2億6千2百万円、固定資産が8億1千5百万円、それぞれ減少したことなどによります。流動資産の減少については、受取手形及び売掛金が1億2千7百万円減少したことなどにより、固定資産の減少については、除却及び減価償却費等により建物及び構築物が4億9千万円減少したことなどによります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億9千2百万円減少し、254億2千万円となりました。これは流動負債が8億6千6百万円、固定負債が4億2千6百万円、それぞれ減少したことによります。流動負債の減少については、1年内返済予定の長期借入金が3億5千万円減少したことなどにより、固定負債の減少については、社債が3億4千万円減少したことなどによります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加し、203億9千4百万円となりました。これは、当期純利益2億9百万円により、利益剰余金が同額増加したことなどによります。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ4千4百万円減少し、12億1千9百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ8千8百万円増加し、9億2千6百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2億1千9百万円、減価償却費7億6千9百万円、固定資産除却損1億5千7百万円等の調整によるものと仕入債務の減少額1億3千6百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ1億5千2百万円減少し、5千5百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億6百万円、有形固定資産の除却による支出1億5千7百万円、貸付金の回収による収入3億8千4百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ2億2百万円増加し、9億1千5百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入38億円、長期借入金の返済による支出42億9千2百万円、社債の償還による支出4億7千万円等によるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来を見据え経営基盤の強化を図りつつ、安定的な利益配分を行うことを第一に、当社グループの業績及び経済情勢等を勘案しながら、適正な利益配分を行なうことを基本方針としております。従いまして、利益の確保と自己資本の充実を図りつつ、配当水準の維持・向上に努めてまいります。

なお、当連結会計年度の配当につきましては、厳しい経営環境と諸般の状況を慎重に勘案し、誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。

2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社6社及び関連会社1社で構成され、百貨店を中心とし、これに附帯する関連事業として不動産賃貸業、その他を行っております。

百貨店業	……………	当社が営んでおります。また、連結子会社(株)新田中は当社の百貨店本館の土地建物の一部を保有する会社であり、百貨店業に含めております。
不動産賃貸業	……………	当社及び連結子会社栄インベストメント(有)、栄インベストメント一般社団法人、関連会社栄地下センター(株)が営んでおります。
その他	……………	連結子会社(株)栄工社が運送業を、連結子会社(株)丸栄エイセイクリーンが清掃業を、連結子会社(株)丸栄友の会が前払式買物券による商品売上の取次を、それぞれ営んでおります。

3. 経営方針

平成23年2月期決算短信(平成23年4月14日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は次のURLからご覧いただくことができます。

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,276	1,233
受取手形及び売掛金	560	432
商品	424	398
貯蔵品	24	25
その他	782	577
貸倒引当金	△145	△7
流動資産合計	2,922	2,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,462	26,588
減価償却累計額	△17,727	△18,344
建物及び構築物(純額)	8,734	8,244
工具、器具及び備品	1,199	1,275
減価償却累計額	△938	△1,000
工具、器具及び備品(純額)	261	274
土地	30,433	30,433
その他	25	19
減価償却累計額	△20	△17
その他(純額)	5	2
有形固定資産合計	39,435	38,954
無形固定資産		
のれん	1,342	1,258
その他	60	82
無形固定資産合計	1,402	1,340
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428	2,486
差入保証金	188	184
繰延税金資産	7	6
その他	490	165
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,115	2,842
固定資産合計	43,954	43,138
繰延資産		
社債発行費	24	15
繰延資産合計	24	15
資産合計	46,901	45,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,736	1,600
短期借入金	1,700	1,800
1年内返済予定の長期借入金	3,867	3,516
1年内償還予定の社債	470	340
未払費用	436	288
未払法人税等	30	21
賞与引当金	1	1
ポイント引当金	50	41
未使用商品券等引当金	311	281
その他	2,378	2,224
流動負債合計	10,982	10,116
固定負債		
社債	715	375
長期借入金	7,684	7,542
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
繰延税金負債	2,089	2,091
退職給付引当金	316	327
長期預り保証金	553	575
その他	372	393
固定負債合計	15,730	15,304
負債合計	26,712	25,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	727	936
自己株式	△107	△113
株主資本合計	12,847	13,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	14
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,341	7,343
純資産合計	20,188	20,394
負債純資産合計	46,901	45,814

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	26,106	24,690
売上原価	20,878	19,631
売上総利益	5,227	5,058
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	281	283
販売手数料	121	105
役員報酬及び給料手当	1,707	1,594
従業員賞与	83	77
賞与引当金繰入額	1	1
退職給付費用	78	75
福利厚生費	220	209
賃借料	337	205
光熱費	292	289
租税公課	254	253
減価償却費	599	559
その他	984	867
販売費及び一般管理費合計	4,963	4,523
営業利益	264	534
営業外収益		
受取利息	13	4
受取配当金	6	5
受取手数料	18	15
持分法による投資利益	54	56
売場改装協力金	104	101
雑収入	17	18
営業外収益合計	215	202
営業外費用		
支払利息	260	231
雑支出	123	129
営業外費用合計	384	361
経常利益	95	375
特別利益		
投資有価証券売却益	11	1
特別利益合計	11	1
特別損失		
固定資産除却損	511	157
その他	1	-
特別損失合計	512	157
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△406	219
法人税、住民税及び事業税	15	8
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	15	10
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	△421	209
当期純利益又は当期純損失(△)	△421	209

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主 損益調整前当期純損失(△)	△421	209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△0	2
包括利益	△421	211
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△421	211
少数株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,937	2,290	1,148	△107	13,269
当期変動額					
当期純損失(△)			△421		△421
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△421	△0	△421
当期末残高	9,937	2,290	727	△107	12,847

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	13	7,328	7,341	20,611
当期変動額				
当期純損失(△)				△421
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△0	—	△0	△0
当期変動額合計	△0	—	△0	△422
当期末残高	12	7,328	7,341	20,188

当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,937	2,290	727	△107	12,847
当期変動額					
当期純利益			209		209
自己株式の取得				△5	△5
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	209	△5	203
当期末残高	9,937	2,290	936	△113	13,051

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	12	7,328	7,341	20,188
当期変動額				
当期純利益				209
自己株式の取得				△5
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	2	—	2	2
当期変動額合計	2	—	2	205
当期末残高	14	7,328	7,343	20,394

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	△406	219
減価償却費	813	769
のれん償却額	83	83
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△138
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11	11
未使用商品券等引当金の増減額(△は減少)	△40	△30
受取利息及び受取配当金	△19	△9
支払利息	260	231
固定資産除却損	511	157
投資有価証券評価損益(△は益)	1	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△1
売上債権の増減額(△は増加)	34	127
たな卸資産の増減額(△は増加)	105	25
仕入債務の増減額(△は減少)	△129	△136
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28	9
その他	△124	△156
小計	1,058	1,161
利息及び配当金の受取額	26	16
利息の支払額	△239	△232
法人税等の支払額	△7	△18
営業活動によるキャッシュ・フロー	837	926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	125	2
有形固定資産の取得による支出	△299	△306
有形固定資産の除却による支出	△94	△157
貸付金の回収による収入	88	384
差入保証金の差入による支出	△0	△0
差入保証金の回収による収入	4	3
預り保証金の返還による支出	△57	△38
預り保証金の受入による収入	32	62
その他	△5	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△700	100
長期借入れによる収入	4,000	3,800
長期借入金の返済による支出	△3,981	△4,292
社債の発行による収入	584	-
社債の償還による支出	△595	△470
自己株式の取得による支出	△0	△5
配当金の支払額	△0	-
その他	△20	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△712	△915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83	△44
現金及び現金同等物の期首残高	1,347	1,264
現金及び現金同等物の期末残高	1,264	1,219

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは百貨店業を中心に不動産賃貸業や運送業等を展開しており、サービス内容・経済的特徴を考慮した上で集約し、「百貨店業」、「不動産賃貸業」を報告セグメントとしております。

「百貨店業」は主として衣料品、身の回り品、家庭用品、食料品等の販売を行う百貨店事業を行っております。「不動産賃貸業」は、オフィスや店舗の賃貸等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,259	1,779	25,038	1,067	26,106	—	26,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	163	168	794	963	△963	—
計	23,264	1,943	25,207	1,862	27,069	△963	26,106
セグメント利益又は損失(△)	△3	669	666	△18	647	△383	264
セグメント資産	25,908	18,877	44,785	1,528	46,314	587	46,901
その他の項目							
減価償却費	588	230	819	3	822	△9	813
のれんの償却額	83	—	83	—	83	—	83
持分法適用会社への投資額	—	1,142	1,142	—	1,142	—	1,142
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	353	12	366	—	366	△3	363

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△383百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

(2) セグメント資産の調整額587百万円には、セグメント間取引消去△1,267百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,854百万円が含まれております。全社資産は、主に提出会社の余資運用資金、投資有価証券等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,034	1,694	23,728	962	24,690	—	24,690
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	144	153	654	807	△807	—
計	22,042	1,838	23,881	1,616	25,497	△807	24,690
セグメント利益又は損失(△)	209	701	910	△28	882	△347	534
セグメント資産	25,465	18,653	44,119	1,489	45,609	205	45,814
その他の項目							
減価償却費	548	226	774	3	777	△8	769
のれんの償却額	83	—	83	—	83	—	83
持分法適用会社への投資額	—	1,192	1,192	—	1,192	—	1,192
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	417	12	429	—	429	△3	425

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△347百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△353百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

(2) セグメント資産の調整額205百万円には、セグメント間取引消去△1,244百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,450百万円が含まれております。全社資産は、主に提出会社の余資運用資金、投資有価証券等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
1株当たり純資産額	155.44円	157.05円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△3.24円	1.61円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎

1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)

項目	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△421	209
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 普通株式に係る当期純損失(△)(百万円)	△421	209
期中平均株式数 (株)	129,885,197	129,868,983

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当事業年度 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	433	414
受取手形	1	1
売掛金	457	355
商品	424	398
貯蔵品	24	24
前払費用	59	59
関係会社短期貸付金	280	280
未収入金	494	473
その他	67	14
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	2,235	2,014
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,100	22,213
減価償却累計額	△15,089	△15,553
建物(純額)	7,010	6,659
工具、器具及び備品	1,200	1,274
減価償却累計額	△940	△1,002
工具、器具及び備品(純額)	259	272
土地	17,844	17,844
有形固定資産合計	25,115	24,776
無形固定資産		
借地権	0	0
施設利用権	40	40
ソフトウェア	14	36
無形固定資産合計	55	77
投資その他の資産		
投資有価証券	1,285	1,292
関係会社株式	5,203	5,203
関係会社出資金	550	553
長期貸付金	340	13
関係会社長期貸付金	6,320	6,040
差入保証金	185	182
長期前払費用	20	21
長期未収入金	2,697	2,999
その他	120	123
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	16,722	16,428
固定資産合計	41,892	41,282
繰延資産		
社債発行費	24	15
繰延資産合計	24	15
資産合計	44,152	43,312

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当事業年度 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	392	367
買掛金	1,263	1,137
短期借入金	2,030	2,120
1年内返済予定の長期借入金	3,867	3,516
1年内償還予定の社債	440	310
リース債務	26	44
未払金	16	28
未払費用	421	284
未払法人税等	21	19
前受金	44	46
預り金	986	963
商品券	986	931
賞与引当金	1	1
ポイント引当金	50	41
未使用商品券等引当金	254	230
設備関係支払手形	1	48
その他	1	1
流動負債合計	10,805	10,093
固定負債		
社債	640	330
長期借入金	7,684	7,542
リース債務	83	109
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
繰延税金負債	758	759
退職給付引当金	258	272
長期預り保証金	348	396
資産除去債務	164	164
その他	116	114
固定負債合計	14,053	13,687
負債合計	24,858	23,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金		
資本準備金	2,290	2,290
資本剰余金合計	2,290	2,290
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△166	74
利益剰余金合計	△166	74
自己株式	△107	△113
株主資本合計	11,954	12,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11	12
土地再評価差額金	7,328	7,328
評価・換算差額等合計	7,339	7,341
純資産合計	19,294	19,530
負債純資産合計	44,152	43,312

(2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
売上高		
商品売上高	23,276	22,054
不動産賃貸収入	998	963
売上高合計	24,275	23,017
売上原価		
商品売上原価		
商品期首たな卸高	528	424
当期商品仕入高	18,888	17,907
合計	19,416	18,331
商品期末たな卸高	424	398
小計	18,992	17,932
不動産賃貸原価	532	515
売上原価合計	19,524	18,448
売上総利益	4,750	4,569
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	405	414
販売手数料	188	167
配送費	150	108
役員報酬及び給料手当	1,178	1,071
従業員賞与	63	56
賞与引当金繰入額	1	1
退職給付費用	71	70
福利厚生費	169	154
賃借料	597	449
光熱費	265	260
租税公課	205	203
減価償却費	571	531
その他	957	917
販売費及び一般管理費合計	4,825	4,406
営業利益又は営業損失(△)	△75	162
営業外収益		
受取利息	114	101
受取配当金	330	394
売場改装協力金	104	101
雑収入	37	30
営業外収益合計	586	628
営業外費用		
支払利息	293	271
雑支出	112	118
営業外費用合計	406	389
経常利益	104	401

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
特別利益		
投資有価証券売却益	10	1
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産除却損	511	157
その他	1	-
特別損失合計	512	157
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△397	244
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等合計	4	4
当期純利益又は当期純損失 (△)	△401	240

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	9,937	2,290	—	2,290	235	235
当期変動額						
当期純損失(△)					△401	△401
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△401	△401
当期末残高	9,937	2,290	—	2,290	△166	△166

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△107	12,356	12	7,328	7,340	19,697
当期変動額						
当期純損失(△)		△401				△401
自己株式の取得	△0	△0				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△0	—	△0	△0
当期変動額合計	△0	△402	△0	—	△0	△403
当期末残高	△107	11,954	11	7,328	7,339	19,294

当事業年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	9,937	2,290	—	2,290	△166	△166
当期変動額						
当期純利益					240	240
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	240	240
当期末残高	9,937	2,290	—	2,290	74	74

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△107	11,954	11	7,328	7,339	19,294
当期変動額						
当期純利益		240				240
自己株式の取得	△5	△5				△5
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			1	—	1	1
当期変動額合計	△5	235	1	—	1	236
当期末残高	△113	12,189	12	7,328	7,341	19,530

6. その他

売上高の明細

	当事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	前年比(%)
紳士服・洋品	530	2.3	89.4
婦人服・洋品	7,261	31.5	85.3
子供服・洋品	243	1.1	91.2
その他の衣料品	790	3.4	97.3
(衣料品計)	8,826	38.3	86.6
身のまわり品	1,659	7.2	89.2
家具	430	1.9	109.1
家電	3	0.0	108.0
家庭用品	208	0.9	73.6
(家庭用品計)	642	2.8	94.3
食料品	5,722	24.9	96.8
食堂・喫茶	543	2.3	134.7
雑貨	4,026	17.5	112.5
サービス	175	0.8	100.7
その他	1,420	6.2	96.2
合計	23,017	100.0	94.8